

JAIC

大学・学生・企業をつなぐキャリア情報誌

キャリアのミカタ

2022.Sep Vol.30



23卒就活体験記

レーザーになる夢を諦めて民間企業就活。

1か月で内定取得したTさん

9月14日開催 大学職員様向けセミナー開催報告

24卒秋冬インターンの効果性をより高めるための学生支援

レーサーになる夢を諦めて民間企業就活。1か月で内定取得したTさん

ジェイックでは、2022年3月から23卒の就職支援を行っています。今回は、Web面接会*に参加して、見事内定を取得した学生のインタビューをご紹介します。

*Web面接会：ジェイックが運営する就職支援プログラムです。就活の全体像を解説する“事前ガイダンス”、就活力をアップさせる“事前研修”、約10社の企業と面接をする“Web面接会”、面接会でご縁があった企業の選考対策やアドバイザーとの就職相談を実施する“個別面接対策”の4つのステップで就職活動の基礎から、就職先決定までサポートします。大学のキャリアセンターと共催をして、各大学の学生限定のプログラム実施もしております。

今回話をしてくれた人 関東私立大学・文系 Tさん



小学生の頃から高校までレーシングカートをしており、将来はレーサーになることを考えていた。コロナ禍によって、大学1年から3年までの間、思うようにレーサーになるための活動ができず、大学4年の4月に民間企業の就職活動を決意。レースや車に関わるような、彼にとって身近な商材を扱う企業ではなく、あえて全く別業界の企業に目を向けて就職活動を行う。全くの就活初心者だったが、大学がジェイックと共催した6月のWeb面接会に参加し、そこで出会った企業の内定を7月に取得。内定承諾し来年の春にはサービス業界の販売職として就職する。

――入学してから就活開始まではどんな学生生活を送っていたのですか？

小学生の頃から高校までレーシングカートをやっていて、将来もレーサーになろうとしていました。学生時代も、後輩の手伝いなどレーシングカーに携わる活動をしていましたが、コロナ禍もあって、夢に向けた活動が思うようにできず、民間企業での就活を考え始めました。

有名なタイヤ関連の会社などへの就職も考えましたが、民間企業に就職するなら、車関連ではないところにしようと思っていました。レーサーを辞めた後に、関連業界の人と会うのは気まずいなと思って…（笑）レーサーになるか、全く違う業界で就職するかのどちらかでしたね。

最終的にレーサーを諦めて、民間企業で就活することを両親と話し合って決めました。

――民間企業での就活はいつ頃から始めたのですか？

かなりギリギリで、4年生になってから始めました。

4年の4月まで何もしていなくて、4年になって初めて、本格的に就活をしなくてはいけないと思って、そこから始めたのは始めたんですけど、何をしたらいいのか全くわからなかったので、2か月くらい無為に過ごしました。説明会には行ってみるものの、先に進まないみたいな無駄な時間を過ごしてしまっていて、何も進んでいないなと感じていました。

――いざ、民間の就活を始めようと思った時に、何から始めましたか？

本当に何もわからなかったので、大学のキャリアセンターに行って、「就活って何をしたらいいんですか？」と、漠然とした質問を投げることから始めました。が、「自分のやりたいことを見つけて下さい」という抽象的な回答しか返ってこなかったんです（笑）。まず、知識を得ないと始まらないなと思って、企業の説明会に行くことから始めました。説明会に行って、世の中にどんな会社があるのかは知れたのですが、説明会是一对多なので、自分の気になるところが最後まで分からないなと思いました。

――その後、ジェイックとの出会いはどんなものでしたか？

大学から、ジェイックのWeb面接会がある、というハガキが届いたことがきっかけです。ちょうどいろいろ企業を見ていたときだったので、それがWebでできるというのに魅力を感じて、せっかくだからこれも参加しようと思って、ジェイックさんと出会いました。

――ジェイックのイベントには、研修や面接会、面談など様々なサポートがありますが、どこに魅力を感じましたか？

最初は、「1日に10社と面接できる」というところに魅力を感じました。

実際、それも良かったのですが、就活がすべて終わった今は、「個別のアドバイザーさんが自分についてくれる」というのが一番ありがたかったと感じます。



▲左：ジェイック 蛭名（講師・大学営業） 右：Tさん

――アドバイザーの存在が大きかったのですね。アドバイザーとのかかわりで印象に残っていることはありますか？

6月から本格的に就活を始めた時、両親からは「もう遅いんじゃないの？」とよく言われていたのですが、アドバイザーさんには「まだ全然遅くないから、焦る必要はないよ」と言っていて、それが精神的な支えになっていました。そのことと、履歴書の書き方とかわからないことが多い中で、それに関するアドバイスを的確にしてくださったことが印象に残っています。



▲ぶっちゃけなところも、笑いながら聞かせていただきました！

――右も左もわからない状況だったと思うのですが、研修はどうでしたか？

全部が知らないことでした。Web面接のときのカメラの角度や背景はどうしたらいい？といった、自分の知らないことを教えていただいて、知らずに受けていたら落ちていただろうなところを矯正していただいたというのがすごく印象に残っています。

――面接会はどうでしたか？当初思っていたものとギャップなどはありましたか？

参加してみて、これまでの面接の経験は関係ないなと思いました。というのも、高校受験や大学受験などの面接は、もっとガチガチな感じで、張り詰めた空気の中で話す印象があると思うんですけど、ジェイックのWeb面接会は説明会に近い形で、一緒に受ける人数も3人くらいなので、自分の知りたいことを聞ける、質問を深掘できる機会もあって、良い意味で空気が緩い、話しやすい雰囲気、楽しく受けられました。

――ご自身で就活していた頃に参加した説明会では聞けなかった質問などもできたんですね

Web面接会の事前研修の時に、「質問をした方が印象がいい」と教えていただいたので、質問できました。もちろん、自分が気になったということもありますが。

質問をした方が良く教わったことで、結果的に、企業の方の説明をより真剣に聞くようになりましたね。企業の方の話の聞いていないと、的外れな質問をしてしまうかもしれないし、的外れでもとにかく質問だけすればいい、というのは逆効果になると思ったので。また、企業による説明の中から自分が知りたいことを見つけられる、ということもあったので、話を聞いて質問もしやすいあの面接会は、ちょうどいい規模や人数だったと思います。

――ちなみに、Web面接会の参加企業の中に、参加する前から知っていた企業はありましたか？

正直、ひとつも聞いたことがなかったです。

大規模な説明会だと、よく名前を聞く企業が多いので、就活ってそういうところで就職するものだって自分の中で思っていました。けれど、自分の視野が狭かったんだなと気づきました。知らない企業さんがこれだけいて、話を聞いてみるとどの企業さんも楽しそうだったり、いろんな印象を抱きました。聞いたことのある、世の中に出ているものが全てではないなと思いました。

――内定までの1か月間はどのように捉えていましたか？

最初にアドバイザーさんに相談したとき、アドバイザーさんは「夏休みまでに就活を終わらせるように進める」という話をしていました。それを聞いたときは正直、信じられず、「そんなに早く終わるんだったら、こんなにみんな苦労していないだろう」と思いました。

だから1か月で終わった時は、こんなに早く終わるんだ、と思ったとともに、現実味がなかったです。本当に終わったのかな？っていう感じが強かったですね。

――ジェイックを使ってみて、ここが印象に残っている、一番良かったことは？

自分一人だとできることに限界があって、例えば、自分が受ける企業の面接情報を事前に得ることなんてできません。アドバイザーさんにはそれを教えていただいたので、面接を受ける前の気構えとして楽になって、やりやすくなって助かりました。就活って自分でやらなきゃいけないものだと思うのですが、身近に手伝ってくれる人がいて、「一人でやってるんじゃないんだ」と心の支えになってくれる人がいたので、1か月という短い期間ではありましたが折れずに頑張れました。

――最後に、就活生へのメッセージ

自分は1か月で就活が終わったので、長く苦しいというよりは、短期集中でやったという感じですが、周囲が内定が決まっているという環境では焦ることもあると思います。ですが、やる気になってやれば手遅れということは多分ないと思うので、「もう間に合わないからいいや」となってしまうのではなく、身近な大人や、サポートセンター（就職課）を頼って、道を探していくというのが大切なのかなと思います。



▲YouTubeスキマデ就活チャンネル用の写真を撮らせてくれました。載せきれないインタビュー内容はYouTubeにアップ予定！

24卒秋冬インターンの効果性をより高めるための学生支援

2022年9月14日に、大学職員様向けセミナー『24卒秋冬インターンの効果性をより高めるための学生支援』を開催いたしました。インターンに関する調査データやウェビナーは他にもありますが、今回のセミナーでは「生の声」をテーマに、新卒領域に長年携わっている2名の弊社社員が対談形式で実際の生の声をご紹介します。セミナーの動画をYouTubeで公開しますので、ぜひあわせてご覧ください。

Speakers



根岸 勇丞 Yusuke Negishi
株式会社ジェイック新卒カレッジ事業部
グループ長/シニアマネージャー

2014年新卒で株式会社ジェイックに入社。企業の採用コンサルタント、学生の就職アドバイザーとして、両面で活躍。現在は大学就職課支援サービスの責任者として、就職支援サービス・キャリアセミナー開発やマーケティングに従事。



早川 遼 Ryo Hayakawa
株式会社ジェイックFutureFinderメディア事業部
マネージャー

2015年新卒で株式会社ジェイックに入社。新卒紹介の採用コンサルタントを経験したのち、ジェイックで初となるメディア事業の立ち上げに参画。現在は、FutureFinderメディア事業部で、マーケティング、カスタマーサクセス領域の責任者として従事。

23卒インターンはどうだったのか？学生側の傾向

根岸：23卒を振り返っての傾向は何かありますか？

早川：22卒と23卒を比較されることが多いんですけど、23卒の方が売り手市場になって、22卒よりも学生さんが就職活動をしやすくなっています。そうなったときに、23卒が22卒よりも盛り上がっている時期があって、それがサマーインターンだったと各社さんおっしゃっています。サマーインターンに参加したいと言っている層が増えているというのは皆さんご認識のことだと思います。特に優秀層は、サマーインターンから積極的に参加している学生さんが多いという印象がありますね。

根岸：夏のインターンは年々やる人が増えているということですか？

早川：年々増えていると思います。特に23卒は、サマーインターンのアクティブ化は非常に進んだのですが、一方で秋冬の落ち込みは22卒に比べてガクンと落ちたというのが傾向として見て取れました。よく言われる「二極化」は、非常に進んでいて、早期から動いている学生は、自分でどんどん動いているけれど、サマー、秋冬と動かなかった学生は、学業とのバランスがうまくとれなくなってくるのかなというのは感じるところです。

根岸：サマーインターンは増えたけど、秋冬は逆にアクティブ率が落ちてしまったということですね。

早川：毎年、秋冬は減る傾向にはあるんですけど、それがより顕著になったのが23卒ですね。

根岸：それが顕著になった要因は？企業・学生の声から何か感じ取ることがあったりしますか？

早川：ディスコさんがとっていたデータで、就職活動に関する危機意識調査というのがあったんですけど、これが面白かったですね。「就職活動が厳しくなると思うか」という意識調査です。22卒は、コロナ禍になって危機意識が高まり、90%くらいの学生さんが「厳しくなる」と回答したのに対し、23卒になると、その回答は半分くらいまで減るという結果でした。簡単に言うと、学生さんが楽観視しているのが感じられました。企業さんからも全く同じようなご意見を頂いて、今年の学生はインターンシップに参加している人は多かったけれど、前のめりな感じが全くない、と言っています。

「オンラインだからじゃないですか」と聞いてみても、22卒もオンラインだったから、その差は顕著に出ている気がするという声を聞きますね。

根岸：23卒は「コロナ禍の去年よりは厳しくならないだろう」という感じなんですかね。ところで、企業さんは、意欲や前のめり感をどこで感じるんですか？

早川：オンラインだと、発言の回数やワークへの取り組み姿勢などですね。これについては、23卒の人たちはコロナ禍でオンラインの授業を受けていたので、やり方が分からないとか受け方が分からないということはない、というのが前提にはなるんですが。

根岸：やり方は分かっているはずだから、主体性があれば、自分からマイクをオンにして発言するだろうとか、そういったところで企業は学生の取り組み姿勢を見ているのですね。

早川：そうですね。人が発言してる時に顔が曇ってる、とかも見られてますね（笑）

根岸：確かに。自分がしゃべってないときの真顔感は、結構（説明を）やっている側は気にはなりますよね。ジェイックが行った学生アンケートで「1dayインターンに参加した」、「企業研究目的・業界研究目的で参加した」という回答が多かったのも、情報収集のつもりで、受け身で参加するところから繋がっているのでしょうか。

早川：そうした傾向がとても強いと思います。23卒は、複数の日程で開催されるイベントよりも、参加しやすい、特に短時間で参加しやすいイベントやインターンシップを好んで参加していた傾向はあります。

セミナーの続きは アーカイブ動画をご覧ください！

インターンシップからの採用はあるのか？
企業側の傾向、23卒や24卒夏インターンの
動向から考えられること、秋冬インターン
に向けて支援すべきことなども話しています



<https://youtu.be/1Zc6fFkgKYE>

最後までご覧いただき、ありがとうございました。少しでも貴校の就職支援の参考になれば幸いです。最後にアンケートのご協力をお願いいたします。今後のキャリアのミカタの参考にさせていただきます。率直なご意見をお寄せください。右のQRコード、もしくはURLからご回答をお願いいたします。

現在、多くの大学様から、就職支援のご依頼を受けております。お困りのことがございましたら、お気軽にお問い合わせください。最新情報や貴校に合わせた支援内容をご提供させていただきます。

